※令和４年度以降入学生用

学校番号	3001

令和５年度　フラワーファクトリ科

教科	農業	科目	農業と環境	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「農業と環境（新訂版）」（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実習では、野菜を栽培することにより、土作り、播種、鉢上げ、定植、かん水など栽培管理についての基礎的な知識や技術を学びます。
座学では、農業や環境に関する知識を広く学びます。

２　学習の到達目標

①　野菜栽培を通して、植物を育てる基本的な知識・技術を身につける。
②　日本の農業と環境について、広く知識を身につけ、それぞれが抱える問題についてその改善、向上を目指して主体的に学習する。
③　関連分野に関する基礎的・基本的知識と技術をもとに先にあげた諸問題解決の思考を深め、適切な判断、表現方法を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	農業と環境の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	農業と環境に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	農業と環境の各分野について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	果実を利用する野菜の栽培 農業と環境について	栽培管理の知識と技術	a: 時季に応じた専門技術について理解し、基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。基礎的・基本的な知識を身に付けている。 b:時季に応じた専門技術についての諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時季に応じた専門技術に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。	・定期考査の結果 ・学習状況の観察	・ノートの記述 ・定期考査の結果	・学習状況の観察 ・ノートの記述
2学期	葉や根を利用する野菜の栽培 農業と環境について	栽培管理の知識と技術	a: 時季に応じた専門技術について理解し、基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。基礎的・基本的な知識を身に付けている。 b:時季に応じた専門技術についての諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時季に応じた専門技術に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。	・定期考査の結果 ・学習状況の観察	・ノートの記述 ・定期考査の結果	・学習状況の観察 ・ノートの記述
3学期	次年度の栽培に向けて 農業と環境について	栽培管理の知識と技術	a: 時季に応じた専門技術について理解し、基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。基礎的・基本的な知識を身に付けている。 b:時季に応じた専門技術についての諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時季に応じた専門技術に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。	・定期考査の結果 ・学習状況の観察	・ノートの記述 ・定期考査の結果	・学習状況の観察 ・ノートの記述

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度